

「ハミダシ情報」常見晃さん(五八)が十月四日(日)、都内で浅川美紀子さんと職場結婚ゴールイン。祈ご多幸。

活動日程

- 10月13日(火) 東混練習場 18:30~21:00
- ※15日(木) プレース24 18:00~21:00
- 17日(土) 奉仕園 17:00~21:00
- 18日(日) " 14:00~18:00
- ※20日(火) 東混練習場 18:30~21:00
- 24日(土) プレース24 18:00~21:00
- 27日(火) 東混練習場 18:30~21:00
- ※31日(土) プレース24 18:00~21:00
- 11月1日(日) ボニー&稲グリ
「オータムコンサート」
千駄ヶ谷・日本青年館
13時開場 13時30分開演
(打上げ・日本青年館)
- 3日(火・祝日) 「早稲田大学校友会
特ステ」大隈庭園
- 29日(日) 第35回早稲田大学
グリークラブ定演
新宿・東京厚生年金会館・夜
- 第17回 桜楓合唱団定演
新宿文化センター 午後2時
- 12月13日(日) 「総会」「グリーXマス」
午後 市ヶ谷・私学会館
- 19日(土) 朝日記念館(朝日新聞)主催
「チャリティコンサート」
特ステ出演 協力桜楓・桜友
有楽町朝日ホール 午後六時

(注) ※印=ボニーと合同練習日
 プレース24=地下鉄銀座線・田原町
 歩5分・田中玄昌さん(54)
 のお世話(芸花舎)
 ☎03-842-1370



〈発行〉
 早大グリークラブOB会
 稲門グリークラブ
 〈編集〉
 富永 侃 二
 頼原 信 郎
 佐々木 豊
 160 新宿区百人町3-8-11
 頼原方 ☎03(360)3336
 (毎月1回発行)

「オータムコンサート」

いよいよラストスパート!

幹事長 富永 侃(三五)

夏の大阪でのOB四連を終えて、ホッとしたのも束の間、十一月一日(日)のボニージャックスとのジョイントコンサートまで、あと僅か二十日余となりました。コンサートは、稲グリ会員その他関係者のお手元に届いていると思えますが、その販売について、会員のなご努力と関係各位のご協力を心からお願ひします。未着の場合は、至急常任幹事、各年度幹事にご連絡下さい。OB四連以降、少々中ダルミ気

味で稲グリ活動全体的にもう一つ盛り上がりを感じているのは、甚だ残念です。今回の催しは、隔年に行っている定演にノギャラで出演してくれているボニーへのお礼の意味を含んだコンサートであり、今までの定演に参加したことのある会員各位には特にご協力をお願いいたします。練習日も残り少なくなりました。オンステージメンバーは、当日のより良い演奏を目指していよいよラストスパートです!

当日は九時半集合です

オータムコンサート・ステマネ 土屋信吾(四四)

タイムテーブル等、詳しいことは現時点では決まっています。集合時刻だけは標準の如く決まっていますので厳守して下さい。前日も夜九時まで練習があるわけですが、この時ばかりは真つ直ぐ帰宅して翌日に備えて下さい。今回のコンサートの特徴は何と

全国OB諸兄よ!集まろう!

十一月一日(日)三日

先号での幹事長記事のとおり、幹事会では十一月一日の「オータムコンサート」、三日の「早稲田大学校友会・特ステ」と短期間のうちに稲グリがステイジが連続するので、この機会に全国のOB諸兄が一同に集って是非旧交を温めたいと練りかえし呼びかけています。

一日は、日本青年館の客席で日頃の練習の成果を聴いていただき、終演後、同じ青年館の中で行われる「打上げ」の後、午後六時頃から赤坂の「稲門倶楽部」(☎03-5821-3877)で再会のパーティーを催す予定となっております。これには、大阪稲グリ名誉会員のピーター・フィンケさんも前日上京して参加すると張り切っています。

また、三日の大隈庭園での特ステにも参加して、校歌・応援歌ほか愛唱歌を歌うことができ、言うことなし。男声合唱から遠ざかっている方には久々に歌いまくる絶好のチャンスとなること請け合いです。

地方から上京される方は、富永幹事長自宅(☎045-182-1134)へ、又は各年度幹事に、また、ホテルの予約希望の方は、十月二十日(火)までに幹事長自宅まで連絡されたい。



マネージャーからのお願い

オータムコンサート担当 T.加藤 久雄(五六)

日本青年館は今のメンバーの多くにとって初めての会場である上、ステイジ練習もボニーとの関係で十分にはとれないことも予想されます。どうしても、前日までに仕上げるのが望まれます。十七日(土)、十八日(日)の強化練習を中心にして頑張りましょう。また、チケット、プログラム、ステイジ、会場、楽屋、打上げ等いろいろな仕事がありますが、いよいよ追い込みです。私も最後まで頑張りますので、担当の方、メンバーの方にはどうぞよろしくご協力の程お願い申し上げます。

(なお、ユニフォーム、ネクタイの確保等、早目にお申し出下さい。)

《出席状況》

	9/12	14	19	22	27	29	10/3	6
T ₁	6	4	7	12	9	8	10	7
T ₂	7	6	6	10	7	11	8	9
B ₁	10	7	8	9	11	14	9	10
B ₂	9	7	9	10	12	15	13	14
	32	24	30	41	39	48	40	40



歌い出し掴めず四苦八苦

「オータムコンサート」ボニーとの合同練習

十月六日(火)、新宿文化センターそばの日本テレビ音楽学院スタジオで、「オータムコンサート」合同ステージ曲のバンド音合わせが行われた。

ボニー側はT、西脇さん(三三)が都合で欠席したほかはスタッフも含めて全員が参加した。

ボニーのリードで演奏曲順に練習が始まるが、稲グリ側はまだ歌い込みが足りずに、ボニーやバンドの音量に対抗できるほど声が出ない。とりわけ、曲の歌い出しの

【ハミダン情報】沖本憲嗣さん(五八)が十一月七日(土)、岐阜県高山市で堀口美香子さんと結婚ゴールイン。祈ご多幸。

シルバ―族の悲哀

B、飯田 剛(二八)



把握ができていないので、モタモタしているうちに曲がどんどん進んでいき、気がついたら終わっていったという状態も時々。楽譜を見ていてもこの有様なので、今回、練習に出席できなかったメンバーは、この練習を録音したメンバーからテープを借りるなどして、十分自宅練習を積む必要があることを感じさせた。

九月二十二日初練習の、ボニー合同曲「カリフォルニア・ドリミング」のハーモニで、つくづく「月下の一群」ならぬ年齢の悲哀を感じさせられました。あのラストと、二頁最下段一小節目、三頁二段目三小節目のハーモニ、私(…)だけでなく数人

の方々も、同意見のよう得意を強く?しましたが、ラストではGb△7よりGbの方が、二頁、三頁ではF7(b9)よりFの方が、はるかに美しく聞こえました。ヤング族にとつては反対のようでした。念の為、我が家で女房(私と五歳しか違わないが、しょっちゅう宝塚歌劇へ行ったり、そのビデオを見ている)に同じハーモニを、ピアノを叩いて聞かせたところ、残念乍ら私と逆で、改めて悲哀を深めるとともに、「これはいけない、新しい感覚を強めるように努力しなければ」とつくづく感じた次第です。これはハーモニだけでなく、リズムも然りです。

《高田馬場の怪》
オジサンパワー、現役学生を圧倒

練習帰りの一杯飲み屋で

九月十二日(土)奉仕園での練習後、高田馬場に確固たる常連飲み屋を持たない稲グリメンは「ユイ浅草」をこの日の会場として乗り込み、例の如く喉の消毒に励んでいた。

同じフロアには、稲グリともうひとつ若い男女十数名からなる学生の団体が陣取って満員になった。学生は騒々しさに、やや押され気味なのはまだ我慢するも、彼らが手拍子をとって歌い始めるのを見

るや、これまで「お兄さん、すいませーん!」と大音声で追加注文を担当していた福島さん(五五)が「土屋さん!何か歌いましよ!」と泣いて訴える。ここぞとばかりに「紺碧の空」をぶちかませば、学生はビックリ仰天。なにせ、怪しげな中年男の集団が突然、自分達の母校の第一応援歌を超越のハーモニで歌い出したのだからヤンヤの大喝采。乗っかってしまったオジサン達は続けて二、三曲を鳴らすのである。

聞けば、彼らはファンタスティック・テニスクラブなる面々で合宿明けの打上げとのこと。本紙編集子も発行したばかりの第四十九号を配り、コンサートの宣伝をするなど抜け目がない。すっかり意気投合し、最後は「早稲田の栄光」を歌う。B、板垣さん(三五)は自分の娘のような若いギャルと肩を組んで歌うなどご満悦であった。また、オジサン達はこれら現役学生達にビール一本の差し入れもせず、甘やかさなかったのは流石であった(ケチ?)。

私達の部報は過去幾度か発刊されたが、いずれも中断し、長期に

持続されることはなかった。然るに、頼原君(四二)がその掌に当たるや昭和五十七年十月以来五年を閲し、ついに五十号を迎えるに至った。

「稲グリ新聞」

五十号を祝す

会長 福井忠雄(二九)



稲グリ今日の隆昌に新聞の果たした役割は余りにも大きく、その功績は万人が認めるところである。

懐かしい手書きの時代、佐々木君(五九)との協同作業となつてからのワープロによる紙面の充実は、他の友好団体にも少なからぬ影響と大いなる交流を生んだ。

両君ともシャイない男である。だから私達はごく自然なカタチで両君に感謝し、五十号刊行を祝い、百号刊行を期して記念の会を持つと思う。そこで左記のような提

るしオデンも食べる。但し校歌、応援歌、ナツメロを歌う特ステに参加されたい。

今回の写譜(一部、ミスコピーで済みませんでした)では、写し終わってから時間が経たぬまま、一人の読合せで印刷に回し、後で改めてハーモニでチェックした

代は無料とし、夫人にささやかな記念品を呈す(内助の功に

感謝すること、ゴマすること(後に期待)。経費は参加者一同の割カンとする。

以上

案をしたい。(一)日頃稲グリ新聞を懐かしく楽しく読んでいるものは全員、十一月三日大隈庭園に集合すべし。当日は口八(無料)にて酒も飲み

第6回 東西四大学OB合唱連盟演奏会

決算書

(S62.7.12 ザ・シンフォニーホール)

収入の部	支出の部
前期繰越金 400,000	演奏会場費 1,066,900
チケット売上げ 3,600,000	合同練習会場費 46,100
同 1,200,400	福永先生関係費 686,895
関 1,200,400	伴奏・手伝い者費用 71,800
慶 599,600	印刷関係費 568,510
早 599,600	旅費補助(早・慶) 400,000
当日売チケット 88,000	早五千元×40人=20万
B券1,600円×55枚	慶 "
プログラム、	雑費 377,975
チケット広告 665,000	借入金返済 400,000
借入金(4団×100,000) 400,000	各団割戻し金 1,090,086
雑収入(写真等) 54,000	早慶 各181,681
利息 1,286	同関 各363,362
計 5,208,286	次期繰越金 500,000
	計 5,208,286

(S62.8.29 報告)

第6回・東西四大学OB合唱連盟演奏会
マネージャー 西村義之 会計 楠木 潔

《第六回OB四連》

マネージン面でも成功

客席ではかの演奏も聴きたかった……OB四連マネ会

八月二十九日、第十回目的のOB四連マネージャー会が西村実行委員長(クローバークラブ・四一)の主催で開かれ、演奏会の一決算と「反省」がなされた。決算は左表の通りで、百六十万円程の赤字となっており、収入面としては大成功といえよう。稲グ

リとしても今回幹事を担当された委員の方々に盛大な拍手を贈りたい。一方、反省点としては次のことが出されている。
① チケット販売枚数についてチケットすべてについて売上金として計上しなければならな

ったので販売が難かしかった。いわゆるマネ券があっても良かったのでは。
② 次回、関西での演奏会ホールはフェスティバルホールでも良いか。ザ・シンフォニーホールの場合、制約が多く、OB四連としてなじまない部分がある。
③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

各団演奏曲出揃う 《朝日チャリティコンサート》

稲グリは「ロバートショー」に決定!

担当マネージャー T₂ 加藤 晴生(三七)

十二月十九日(土)、有楽町朝日ホールで開催される「チャリティコンサート」の第二回打合せが、九月十五日夜、有楽町マリオンビルの朝日記念館で行われました。出席は主催者側から中野さん(二七)と矢沢さん、出演者側から稲グリ、桜楓、桜友の各幹事ら計六名。

打合せでは、演奏会の開演時間は当日が土曜日でお客として家族連れが多いという予測から子供達の学校の時間に合わせ、午後六時ということに決定したほか、各団の演奏曲、合同曲等が出され、ほぼ決定を見ました。

稲グリ演奏曲は、「オータムコンサート」以降当日まであまり時間もないことから幹事会で検討の結果、昨二十一回定演で演奏した「ロバートショー」ということで申し出ています。予定演奏曲は次の通りです。

- 桜友女声合唱団 「アベ・マリア曲集」(六曲)

制約など、なにかと窮屈であった。
④ 当日、楽器搬入時間の会場側との連絡徹底を望む。プログラム、パーティータケットの誤字、脱字のミス改善を。
次回、昭和六十四年の第七回OB四連を担当する稲グリとしては、この反省を大いに生かして成功させたいもの。

- 桜楓合唱団 「唱歌の四季」(五曲) 三善 晃編曲

- 稲門グリークラブ 「ロバートショー合唱曲集」

- 合同ステージ ホワイトクリスマス

- ホワイトリスマス 聖者の行進 雪の降る街を ペチカ トロイカ 聖しこの夜 遙な友に

この「チャリティコンサート」のことが有楽町界隈で発行されているタウン誌「有楽町」の十二月号で、名門三団体の出演で……と紹介されることになっています!

頑張れ大阪稲グリ

目指せ上位入賞!

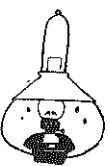
十月十八日(日)に池田市民文化会館アゼリアホールで開かれる第四十二回関西合唱コンクールに向けて猛練習中。指揮藤野充(四〇)、課題曲「ディーナハト」、自由曲うつむく青年より「見る」、ピアノ小道久仁子。

練習は慢性的メンバ不足で欠けたパートを指揮者が歌いながらアンサンブルをするという気が狂いそうな状況を楽しみつつ元気に励んでいる。規定の十六名確保について坪井会長らは、「当日は十六名になる、いやなるはずだ、いやなって欲しい、いやなるかも知れない、いやムニヤムニヤムニヤ、まア何となるやろ」といつものように酒を飲んでいる由。

何とか頑張つて上位入賞を果たしてもらいたいもの。コンクールが終わったら奥様同伴で十一月一日に大挙して上京しませんか?大歓迎です。

稲グリ恒例クリスマス

家族みんなが待っている



今年も、十二月十三日(日)に市ヶ谷・私学会館で例年の通り、家族、友好団、ファンに参加を含めた楽しい「稲グリ・クリスマス」が計画されている。委員長は昨年が続いてT₁の永井さん(四二)で、昨年にも増して楽しんでもらおうと知恵を絞っている。諸兄にはプレゼントのご用意などご留意の程を!

【ハミダシ情報】稲グリ・バリトンの若きエースの一人、菊地隆一さん(五六)が十一月十五日(日)都内で、平井知佳子さんと職場結婚ゴールイン。祈ご多幸。

「オジサン達がやってきた」の記

四十二年卒二十周年同期会

T1 永井 秀夫

またまた書いています。何かあると書かずにいられない。我ながら困った病気だと思ふ。それにいつも長すぎる。今後は気を付けよう。が、書くからには常に面白くなくてはならない。これは私の悲しい宿命である。

九月十九日、熱海後楽園ホテルに同期三十一名のうち十九名が集まって来た。一様に年はとつているが、一たび口を開けば昔のまんま、ちっとも変わらなない。いざ集まったところで特別何をするとしようか。酒を飲んで少しく話しをして大声で歌うだけだ。男同志とは所詮そんなものだ。少し振りに顔を合わせたという事、そのことにこよなく意味がある。



今回は面白いから来た連中を片端から斬ってみよう(愛を込めて敬称は略す)。

やないか。だからといって新宿の小便横町で二日も三日も臭いの消えないニクラーメンなんかつき合わせるな! 正木、いるとうるさくて、いらないと寂しい。練習においで、「毒ガスおじさん」をみんなが待つとるけん!

送別プロ3回・4回やい!

T1 内田さん(二七)のもとで進められていた稲グリ部史編集作業は現在相当の資料が集まっています。次の資料が未発見で協力をと呼びかけています。

- 送別委員会プログラム
第二十三回(昭和四十九年)
第二十四回(昭和五十年)
一連絡先 内田裕和
自宅 〇四二二二五一一二三〇一
会社 〇四二二二二二二一五四八〇

現役、部史づくりを開始!

十月七日(水)夜、内田さんの事務所に、現役次期部長の三瓶君(三年)と一年生八人が集まりこれにE編集子も加わって「現役部史」づくりのオリエンテーションが行われた。OBに刺激されての大奮発であり、この大事業が成功するよう見守りたい。一年生達は自分達が卒業するまでに完成させたいと張り切っている。

もがなを告白した君、あんたはエライ! 頼原、夜中にあれだけ騒いでおきなながら、起きると全く覚えていないという幸せ者。「オオオオ! 明治はいささか聞きあきた。永井、自分を斬るのは痛いからいやだが、みんなの手前、チョットだけ。「馬鹿者! かい声で歌やい。いつてもんじやない! ちった! 加減する」ということを考える!」

「ハイ!」
残念ながら今回参加できなかった御同輩、次回は全員で集まろう目を開けて 唄いし友は
四十路越ゆ
髪の色に 海の蒼さよ
(秀永)

この秋の岡村喬生さん

二期会オペラ公演
「セピアの理髪師」
バジリオ役で全日出演
十月二十三・二十五日
新宿文化センター

朝日新聞記念会館

「歌の旅シリーズ」

1987 第1日 11/8日 午後2時

1987 第2日 11/14日 午後6時



有楽町朝日ホール
¥3,000(全席指定)

編集後記

「オータムコンサート」朝日チャリティコンサート「朝日」の出来は、必ずや来年夏のサントリーホールでの定演のお客の入りに影響するものと思ひます。したがって、チケット販売による財政面、環境面は勿論のこと、演奏面も同様に充実させたいものです。もうひと頑張りしましょう。次号第一面のトップは誇張でなく「オータムコンサート成功」と打ち出したのもです。(S)

「ハミダシ情報」石亀昌郎さん(五九)が十一月二十三日(勤労感謝の日)、何と奉仕園で本女の二級上のソプラノパトリ阿部裕子さんと結婚。称讃と罵声を一身に浴びている。